

第45回赤レンガフォーラムを開催しました！

第1部 特別講演 「乳幼児期における親子関係の発達心理学」

講師：清水 光弘先生 放送大学岡山学習センター客員准教授・元川崎医療福祉大学准教授 専門分野：発達心理学

第2部 学生発表「一卒業研究を振り返ってーなぜ教科書は三人称を立てるのか」

放送大学 全科履修生 人間と文化コース在学中 比江島 玲子氏

実施日：2024年8月17日(土) 13:30～16:35

会場：放送大学岡山学習センター（会場：第2講義室）

放送大学岡山学習センターでは、学生と教職員の相互の学びのための一般公開フォーラム第45回赤レンガフォーラムを開催しました。第1部は、放送大学岡山学習センター客員准教授の清水 光弘先生による特別講演。第2部は、放送大学 教養学部 全科履修生 人間と文化コース在学中の比江島 玲子氏が、卒業研究を振り返る内容で学生発表を行いました。今回も多数の皆さまに参加いただきました。ありがとうございました。

第1部【特別講演】13:40～15:20

「乳幼児期における親子関係の発達心理学」

清水 光弘（しみず みつひろ）先生

専門分野：発達心理学

放送大学岡山学習センター客員准教授

元川崎医療福祉大学准教授



「乳幼児期における親子関係の発達心理学」と題して、子どもの発達における親子関係の重要性、特に乳幼児期における親子関係の質が子どもの認知発達及び社会情動的発達に大きく影響することを主旨としてご講演いただきました。

序言として、児童相談所で技術吏員心理判定員として勤務した際の経験や疑問が、講師の親子研究の原点であることの紹介がありました。

続いて、現在の発達心理学では親子の相互関係に注目しており、乳幼児期における親の応答性、温かさ、情動的サポート等が子どもの自己制御の発達を促すことの説明があり、また、児童期の自己制御能力が成人期の諸特性（収入や健康問題）に影響があることについても触れられました。

その後、マイクロ分析などの親子関係（相互作用）の測定法について、さらに、親子関係の重要な側面として、子どもが大人の視線から相手の心を読んで言語を発達させる「共同注意」や、スマホなどの過度の使用により乳幼児の発達に悪影響が懸念される「テクノフェランス」等について解説がありました。

最後に、幼児の社会情動的発達の問題に対処するとき、支援対象を親あるいは親子関係に設定することが適切であり、親子研究から得た知見を子供の健やかな育ちに結びつけること（Evidence-based practice）が講師の目標であったと締めくくっていただき、親子関係の心理学的研究について会場全体で学びを深めることができました。

第2部【学生発表】15:30～16:30

「一卒業研究を振り返って一なぜ教科書は三人称を立てるのか一初級日本語教科書における授受動詞の扱いと学習者に与える影響についての考察一」

比江島 玲子（ひえじま れいこ）氏

教養学部 全科履修生 人間と文化コース在学中

2022年度に履修された卒業研究を振り返り、研究された内容等を発表されました。

学生ご自身の日本語学校やボランティアなどで、日本語を教えられた経験談により、会場の皆様と交流が深まり、素晴らしい研究発表となりました。



参加された皆様の声

当日参加いただいた皆さまより、多くのお声を頂戴しましたので一部を紹介いたします。

- ・乳幼児の教育は育てる人が常に関心を持ち、接すること。できるだけ簡単に丁寧に説明することが大切。
- ・親にはなれても親が成長できていないという問題をどのようにしたら良いか。コンピューターの普及により、スマホ、ゲーム等、子供にはダメと言っても当の本人がやめられない親も多いのではないのでしょうか。
- ・子育ては終了したが、子供には両親、家庭内の関わり方が大切だと理解した。
- ・興味のある内容だったため、改めて親子関係について深い関心を持ち、改めての理解となる機会でした。
- ・仕事上での気付きから発表された日本語を外国の方に教える上での難しさを改めて知らされました。
- ・研究されたご苦勞を感じ、日本語を教えるというご職業についても理解が深まりました。
- ・日本語は二人称を使つての会話が少ないこと、高文脈依存の言語であるということが、「くれる」「あげる」という言葉でも理解できた。

次回の赤レンガフォーラムについて

第46回赤レンガフォーラム

実施日：2025年2月15日(土) 13:30～16:35

会場：放送大学岡山学習センター 6階 講義室

申込先着順 会場定員62名

第1部 特別講演「探究型の理科活動を作る」

講師：喜多 雅一 先生

岡山学習センター客員教授・岡山大学名誉教授

専門分野：理科教育・国際教育協力

第2部 学生発表

「一卒業研究を巡って一「療養病床」「胃ろう」をご存じでしょうか?」

放送大学 全科履修生 生活と福祉コース在学中 近藤 由利 氏

※詳細が決まりましたら、システムWAKABA学内連絡、岡山学習センターウェブサイト、館内掲示、まなび一通信等にてお知らせいたします。放送大学生も一般の方も参加いただけます。ぜひ周囲の方を誘ってご参加ください!!

